



## 主 題

- クラブ (主 題) “Pass it on to the next generation”  
 「次代に引き継ぐ」 生地 義治会長
- 国 際 (主 題) “Once More We Stand”  
 「心新たに立ち上がろう」 藤井 寛敏(東京江東クラブ)
- ア ジ ア (主 題) “Once More We Stand”  
 「心新たに立ち上がろう」 高田 一彦(横浜クラブ)
- 西日本区 (主 題) “Forward with Y's men's spirit in our hearts”  
 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」 仁科 保雄(京都キャピタル)
- 中 西 部 (主 題) “Enrich your Y's life with a broader perspective!!”  
 「豊かに、そして拮がりのあるワイズライフを!!」 松浦孝次(大阪センテナル)

## 聖 句

どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。  
 テサロニケの信徒への手紙一 第5章18節

## クラブメンとして上半期を省みる

小森 三省

2011年は我がクラブにとって60周年事業の年です。クラブ誕生は1951年6月5日、小生が生まれた月日で、何かの縁で結ばれているように思います。一人では何もできないですが、何か一つでもクラブの役に立ちたい気持ちです。私は毎年IBC交流をしていますが、今回はクラブメンバー4名で韓国済州島三多クラブを訪問しました。我がクラブ60周年記念例会をアピールし三多クラブより約6名様が参加されることを確認しました。2009年に訪問しました台北セントラルクラブからも多数の参加希望をいただき大変喜ばしいことです。

2009年よりクラブ事業として京田辺大住に畑を借り「土佐堀ファーム」として色々な野菜を植えてきましたが、今期は鳴門金時を植え11月に収穫することができました。11月例会にてこの採れたての鳴門金時を販売し、クラブファンに繰り入れることに成功しました。その後しばらく休田する予定でしたが、地主さまの支援もありタマネギを400本植えました。5月に収穫できる予定ですので、60周年記念例会では立派なタマネギを提供しファンができることと期待しています。同じ場所で畑を借りている他の方々からも土佐堀ファームを応援していただいていますので、ぜひクラブメンバーのみなさんもこの事業にご協力いただき一緒に良い汗をかきましょう。

1月

## 例会プログラム

### <新年例会>

日時：2011年1月18日(火) 18:30~20:20

会場：土佐堀YMCA会館302号室

司会：小森 三省メン

担当：交流事業委員会(小森委員長、今村、岩田、岡野 奥田、水口)

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. 開会宣言・点鐘            | 生地 義治 会長    |
| 2. ワイズソング             | — 同         |
| 3. ゲスト紹介              | 司 会 者       |
| 4. 聖句朗読・メッセージ         | 只野 準一 メン    |
| 5. 食前感謝               |             |
| 6. 晚餐と歓談              | — 同         |
| 7. メンバースピーチほか<br>新春放談 | — 同         |
| 8. ファンドオークション         | * 献品をお願いします |
| 9. YMCA ニュース          | 小路清一連絡主事    |
| 10. インフォメーション         | 水口 美里 書記    |
| 11. 誕生日・結婚記念日         | 生地 義治 会長    |
| 12. ニコニコ              | 司 会 者       |
| 13. YMCA の歌           | — 同         |
| 14. 閉会宣言・点鐘           | 生地 義治 会長    |

### 1月の強調テーマ <IBC・DBC>

BC締結で新たな風を! 多くのワイズメンとのふれあいで違った自分の発見を! 平野 実郎 交流事業主任(名古屋クラブ)

## 例会報告

西田 卓史

12月

## 役員会報告

岩田 晋

12月11日午後2時より大阪YMCA会館603号室にて12月例会が開催されました。澁谷メンのクリスマスメッセージの代読に続き、臨時総会、次期会長選出が行われ満場一致で小森メンが選出されました。オークション、誕生日のお祝いを行い閉会宣言の後、大阪教会へ移動しとさぼりYMCAクリスマスのつどいに参加しました。教会で聞くパイオルガンの音色は本当に人の心の隅々まで響き渡ると痛感しました。今回私、西田は初めての司会を任せましたが緊張と焦りで皆様の期待に答えられず誠に申し訳ありませんでした。今回の事をバネにし、これからも頑張っていきたいと思えます。以下、澁谷メンからのクリスマスメッセージを転記します。

### 【 クリスマスメッセージ 澁谷弘裕 】

クリスマスおめでとうございます。

クリスマスとは、ご存じのように「キリストの誕生日」です。キリストとは「救い主」という意味ですが、この「救い主」が生まれた場所はベツレヘムという町でした。この町はエルサレムの南方9キロ程に位置しており、山脈の東側にある山間の町であったようです。旧約聖書のミカ書5章1節2節には「ベツレヘムに『イスラエルを治める者が出る。』とあり、さらに当時「ベツレヘムは捨ておかれる」と書かれている程に寂れた村でしたが、「産婦が子を産むとき」に、人々の「帰ってくる」場所として預言された町です。またベツレヘムは、イスラエル民族をただの民族共同体から領土を持つ都市国家へと成長させたダビデ王の出身地です。ダビデは神ヤハウェから、彼の築いた王国が永続するという約束を与えられました。これは神の側から与えられた一方的恩恵で、人々はイスラエルが苦難にあう時、ダビデのような偉大な指導者が現れて民族を助けると願っていました。その助けとは戦争や侵略されることのない平安が訪れることでした。その期待の実現として、キリストの誕生がベツレヘムであると描かれているのです。聖書では、状況も記されています。ヨセフとマリアが泊まったとされる「宿」も今日考えるような宿泊所ではありません。宿は普通の民家・農家のことで、広い居間に台状の床が作ってあり、その上で人々は寝ていたようです。家畜は同じ建物内の土間か、少し離れた場所に建った小屋で生活しており、飼い葉桶は床のふちや土間に置かれていました。飼い葉桶をゆりかごの代わりに使い、土間にいぐさでも敷いたのでしょうか、それがキリストの誕生の現実でした。時に神秘的で美しい光景を思い浮かべ、心地よい音楽ときれいなイルミネーションで祝われるクリスマスの現実は、このように寂しいものでした。しかし、今一度振り返ります。旧約聖書で預言されたこと、つまり神様の約束は、「ベツレヘムは捨ておかれるが、産婦が子を産むとき、人々が帰ってくる」という内容でした。ベツレヘムは今では一大観光地で、まさに世界中から人々が集まってきます。しかしそれ以上に大切なことは、なぜ人々が集まるようになったのかです。それはイエス・キリストがダビデ王を超える指導者となったこと、具体的には人間として生きて人間の最大の苦しみである死に打ち勝って復活し天に昇られたこと、死を恐れる必要のない世界を開かれたことを喜ぶためです。信じることで、死という抗えない現実をないものとして人間に平安と慰めを訪れさせるキリストが、旧約聖書に書かれた通りにベツレヘムに現れたことを喜ぶ日、これこそ私たちがお祝いする理由であってほしいものです。

日時：2010年12月14日（火）18:30～19:30

場所：奥田事務所

出席者：生地会長、岩田、岩原、岡野、奥田、工藤、小森、小路、只野、西田、牧口、水口

### 報告事項

#### 1. 12月例会 [12月11日（土）大阪YMCA 603号室]

出席者：メンバー16名、メネット2名、合計18名  
メンバーキャップ1名（福永）、出席率：17/21=81.0%、ニコニコ：9,500円、ファンド：10,600円

担当：EMC 広報事業委員（北村委員長、奥田、小森、工藤、西田、灰谷）

内容：会長選出、澁谷メンのクリスマスメッセージ代読

#### 2. 次期会長選出について

12月例会において選挙管理委員長北村メンの議事により協議を行い、全会一致で次期会長は小森三省メンに決定した。

#### 3. とさぼりYMCAクリスマスのつどい

例会後、15時から大阪教会にてクリスマス礼拝、

16時からYMCA2階ホールにてクリスマスのつどいに参加  
出席者：生地、坂本、坂本メネット、灰谷、小森、工藤、奥田、只野、水口、小路、岩原、岩原コメント、牧口、牧口メネット、岩田

#### 4. YMCA ニュース（小路連絡主事）

大阪YMCAが公益財団法人として内定した旨報告あり。

#### 5. 60周年記念例会準備状況（工藤実行委員長）

12月7日（火）ミズノテクニクス(株)を訪問し、久保田五十一氏の派遣を依頼。生地会長名で社長宛依頼書を発送。記念例会第2報は12月11日にプリント発注予定。

#### 6. 中西部合同新年会 出席者の確認

#### 7. 中西部わいわいフォーラム 出席者の確認

### 協議事項

#### 1. 1月クラブ例会 [1月18日（火）] 18:30～20:20]

（交流事業委員会：小森委員長、今村、岩田、岡野、奥田、水口）会場を大阪YMCA3階302号室に変更し、記念例会用食事の試食も兼ねた内容とする。会費5,000円  
テーマ：新春放談 メンバースピーチほか、音楽のゲストを検討。

#### 2. 2月例会ゲストスピーカー 川阪京子さん

COP16（カンクン）報告（予定）

#### 3. 4月例会について

豊島（岡山県）訪問例会案を検討。

#### 4. その他

### 60周年記念事業委員会

プログラム、料理・飲み物の検討。

IBCゲストのエクスカージョンプログラムを検討。

広報予定の確認

準備作業の役割分担を確認。

## IBC &amp; International

&lt;アンニョン KOREA&gt;

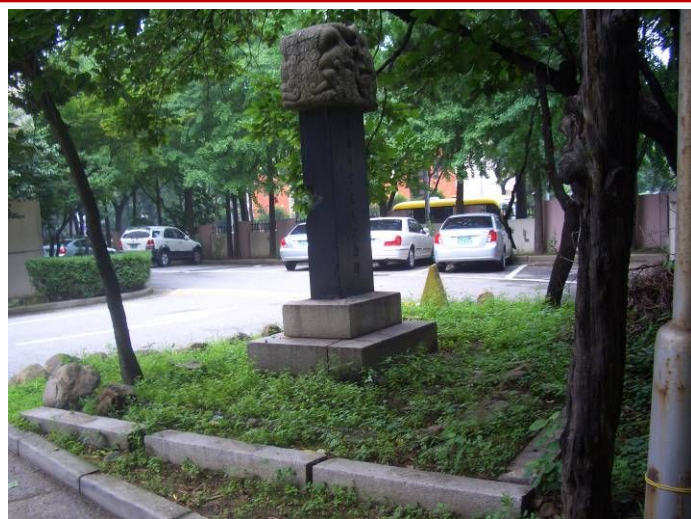
岩田 晋

シリーズ 韓国の石に見る日本 ⑤

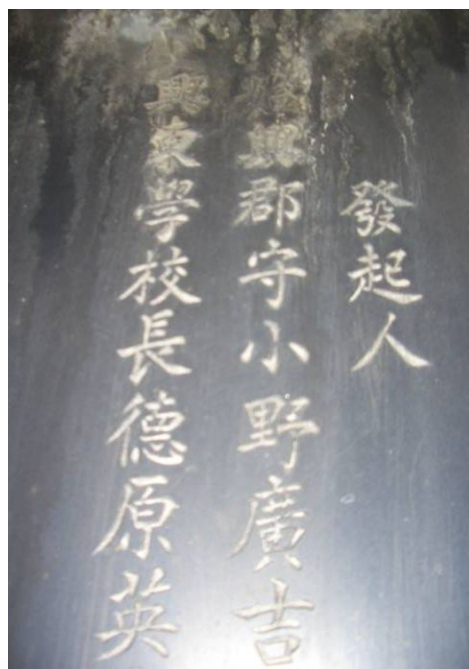
## アパート団地の中の頌徳碑

乙丑年(1925)7月の大洪水が空前絶後の被害をもたらしたことは既に(前月)お話ししましたが、これにまつわる記念碑がもう一基、カンナム(江南)のチャムオン(蚕院)にあります。こちらは記念碑ではなく、頌徳碑です。チャムオン洞一帯も20階近くの高層アパートが群立する高級住宅地ですが、そのアパート団地の片隅にひっそりと立っている、この碑をふり返る人は殆ど見かけません。正面には「故金周容先生紀念碑」、裏面には、碑の由来が詳細に刻まれています。乙丑年の大洪水で、このチャムオン一帯も水没し、そこに住む人たちは一瞬にして住む場所がなくなってしまいました。これには日本人家族も含まれていました。住民の惨状を目のあたりに見た金周容は、浸水の心配のないパンボ(盤浦)洞の高台に所有していた土地に40数軒の簡易家屋を建て、罹災した人をそこに住まわせました。金周容は土地の富豪でしたが、小学校を造ってそっくり寄付するなどして、世間の人をあとと言わせました。この記念碑は金周容の徳を称えるために1941年に有志によって建てられたものです。碑には日本人の始興郡守・小野廣吉をはじめ、各国民学校校長、父母、郡内外の有志がこの碑を建てることに賛同したことがわかります。「昭和十六年十月」と、碑の建立年が刻まれています。碑の日本年号は解放(日本の敗戦)と共に削り取られた例が多いのですが、この碑に関してはそのまま残されています。

(次回は漢江のほとりに建つ慰霊碑をお伝えします)



アパート団地の中にひっそりと立つ頌徳碑



發起人に日本人の名前も見られる。

## 国際統一事業(UGP)におけるロールバックマラリア(RBM)のご案内

日々、ワイズダムへの御献身、感謝申し上げます。今期スタートの前より、昨年度で「STOP HIV/AIDS」に関する5年間のUGPが終了し、今期より新たなUGP「Roll Back Malaria」の活動が始まることを、お伝えして参りましたが、理事通信11月号にも記載の通り、国際協会より、その活動の詳細について連絡がございました。これに基づき、今期の西日本区地域奉仕・環境事業としての取り組みを、事業委員会におきまして、下記の通り、決定致しましたので、お知らせ致しますと共に、ご協力をお願い申し上げます。

- 「マラリア感染予防パッケージ」 1セット 800円
- クラブ目標は、各クラブの自主判断でお決め頂きます。(少しでも多くご協力をお願いします。)
- 献金締切: 2011年2月15日(但し、UGPは5年継続です。締切後も受け付けます。)
- 献金方法: 西日本区払込取扱票にてお振込み下さい。

それぞれのクラブで目標を決め、いろいろな方法で取り組んで下さい。例えば以下のような方法も考えられます。

- ・メンバー一人一人が、この取り組みを覚えて献金する。
- ・例会時のニコニコ献金をこれに充てる。
- ・街頭募金をする(ワイズの活動のアピールにもなります)。
- ・YMCAに呼びかけ、共に募金活動をする。(その他、それぞれのクラブで楽しい取り組みを考えて下さい)

西日本区理事 仁科 保雄  
地域奉仕・環境事業主任 林 良廣



# とさぼり YMCA クリスマスのつどい

牧口 光

12月11日(土)「とさぼり YMCA クリスマスのつどい」が開催されました。

I部は15:00から大阪基督教団大阪教会にてクリスマス礼拝が岡村恒牧師の司式の下で行われました。久々に伺いましたが、国の登録有形文化財の煉瓦造りの建物にパイプオルガンの音が心地よく、主イエスキリストの御誕生を祝い祈りの時を持つ事が出来た事を感謝いたします。

II部は16:00から大阪YMCA会館2階ホールにて祝会が行われました。キャンドルセレモニーから始まり、留学生による文化紹介やポットラックの紹介、ウェルネスリーダー会による大型絵本に合唱団アンサンブル・エボリュエによるミニコンサートなど盛り沢山の内容でした。学生やウェルネスリーダー、YMCA職員・ワイズメンなど老若男女入り混じっての18のテーブルが用意され、我々のテーブルではウェルネスリーダーと韓国・フィリピンからの留学生、そして坂本メン・メネットと同席となり、60歳以上?!の年の差を埋める楽しいテーブルでした。岩原メンのコメットも初参加でクリスマスを機会にまさしく集えた事を感謝します!



YMCA 仲間のアットホームなクリスマスのつどい

## 60周年記念実行委員会報告

工藤 義正

土佐堀ワイズメンズクラブ60周年記念例会の内容が決まりましたので報告します。

タイトル:「ONCE MORE WE STAND!」

日時: 2011年5月21日(土) 16:00 (15:00開場)

場所: 大阪YMCA会館 (土佐堀館) 2階大ホール

会費: 8,000円

内容: 現代の名工 久保田五十一氏 (ミズノプロバットマイスター) の講演、音楽など

## YMCAニュース

### ■第213回大阪YMCA 早天祈祷会

日時: 1月21日(金) 7:30~8:30

会場: 大阪YMCA会館 10F チャペル

証し: 宇埜 充洋さん (大阪北YMCA 所長)

### ■クリスマス献金のお願い

大阪YMCAは、11月から2月までの4か月間、クリスマス献金を実施します。皆様からいただいたクリスマス献金を用い、国内外のYMCAと協力し、ボランティアとともに様々な支援プログラムを企画・実施・援助する活動を展開しています。私たちの祈りを込めた献金が社会に光を灯し、地域・世界の人々の笑顔につながればと願っています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

土佐堀YMCA運営委員会クリスマス献金実行委員長 丹吾 礼

### ▽ 1月の予定

10日(月) 阪和部合同新年例会(17:00~)	南YMCA
11日(火) 60周年記念例会実行委員会(18:30~)	奥田事務所
15日(土) 中西部合同新年会(15:30~)	アンジェラ・マリアージュ
18日(火) クラブ新年例会(18:30~)	土佐堀YMCA302号室
25日(火) 第二例会・役員会(18:30~)	奥田事務所
25日(火) ブリテン委員会(19:30~)	奥田事務所
29日(土) わいわいフォーラム(14:00~)	土佐堀YMCA

### ▽ 2月の予定

8日(火) 60周年記念例会実行委員会(18:30~)	奥田事務所
15日(火) クラブ例会(14:00~)	土佐堀YMCA
3月1日(火) 第二例会・役員会(18:30~)	奥田事務所
3月1日(火) ブリテン委員会(19:30~)	奥田事務所

### ▽ 1月の誕生日おめでとう

19日 道関 和宏

### ▽ 1月の結婚記念日おめでとう

[該当なし]

<今月の題字写真> 冬牡丹 雪の中に牡丹の花が咲き、白と赤のコントラストが誠におめでたい。60周年を迎える我がクラブにとっても新年は特別な年になる。凛とした志を持って進みたい。花言葉は「高貴」だそうである。(Y)

12月例会出席者数		12月例会出席率		B	F	ニコニコ	TOS ファンド
メンバー	16名	会員例会出席者	16名	切手	0pt	12月分 9,500円	12月分 0円
メネット	2名	メーキャップ	1名	現金	0pt		今期累計 0円
コメット	0名	合計	17名				残高合計 1,311,060円
ビジター	0名	現会員数	22名				<b>60周年ファンド</b>
ゲスト	0名	出席率対象数	21名				12月分 10,600円
出席者合計	18名	出席率	81.0%	今期累計	0pt	今期累計 42,877円	合計 179,654円